

★「サイズの選び方」

毎年多くの新中学1年生の学生服を採寸させていただいている方に聞いた事柄です。
必ずしも「これがベスト!」とはいえませんがご参考に!!

学生服は決して安い買い物ではなく、できれば中学3年間もたせたいと考えますね。

ここでは1着の学生服を3年間使用することを前提に説明させていただきます。

成長には個人差があります。中学3年間身長でいえば20cmも伸びる方もいれば5cm程の方もいらっしゃいます。

体つきもがっちりしてくる学生さんもいらっしゃいます。

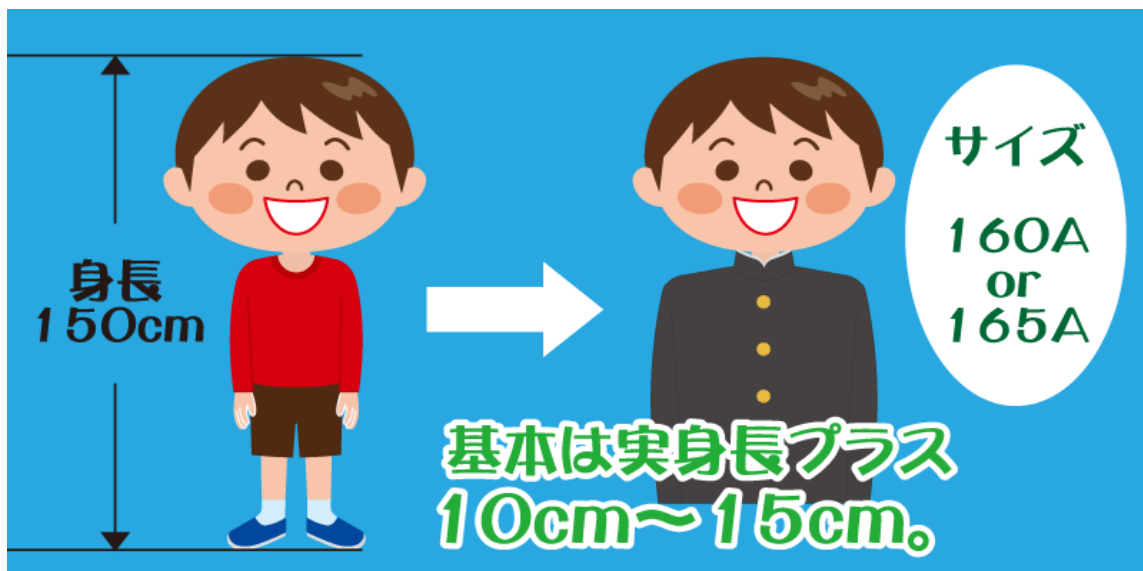
必ずしも1年後にはこれだけ成長する、しないという保証はできません。

あくまでも平均的な成長に合わせたサイズの選び方だということをご理解ください。

【上着編】

★基本は実身長プラス10cm～15cm。

それでは標準体で身長が150cmの学生さんを採寸する場合を例にします。



身長のプラス10cmのサイズとプラス15cmのサイズがおおよその基本となりますのでこの学生さんの試着サイズは160Aと165Aとなります。

学生服の中の服はあまり厚着にならないようにします。

その状態でまずは大きいほうのサイズ（165A）を試着してもらいます。

肩の位置、袖口、胴回り、丈の長さのチェック

肩の位置

肩パットが入っていますので、だらんと肩が落ちることはありませんが触ってみて実際の肩の位置を確認します。

3～4cmぐらいの隙間までが許容範囲だと思います。



袖口

袖口からどれだけ手が出ているか確認します。

「気をつけ」をした状態で第二関節が見え隠れするぐらい状態で

「前ならえ」をしてみて、手首近くまで手が見えれば、

授業中に鉛筆を持って邪魔にならないと思います。

胸回り

両腕を横に水平にします。

両脇から腰の付近まで触ってみて余裕を確認します。

薄着で試着していただいていますので、

「ちょっと大きすぎないかな～」と思えるぐらいがちょうどいいと思います。

丈の長さ

後ろから見てお尻がちょうど隠れるまでいいと思います。

長すぎると校則にひっかかる場合もありますし、

短すぎると3年生時にはかなり窮屈な状態になると思います。

★「大きすぎる」と感じるのがちょうどいい!?

ここで、全体のシルエットを確認し、保護者の方に聞いてみます。

大抵「大きすぎるんじゃない??」という印象があるようです。

そして次に1ランク下のサイズ(160A)を試着していただきます。

すると「今でちょうどいいくらいの大きさだわ」という印象になります。

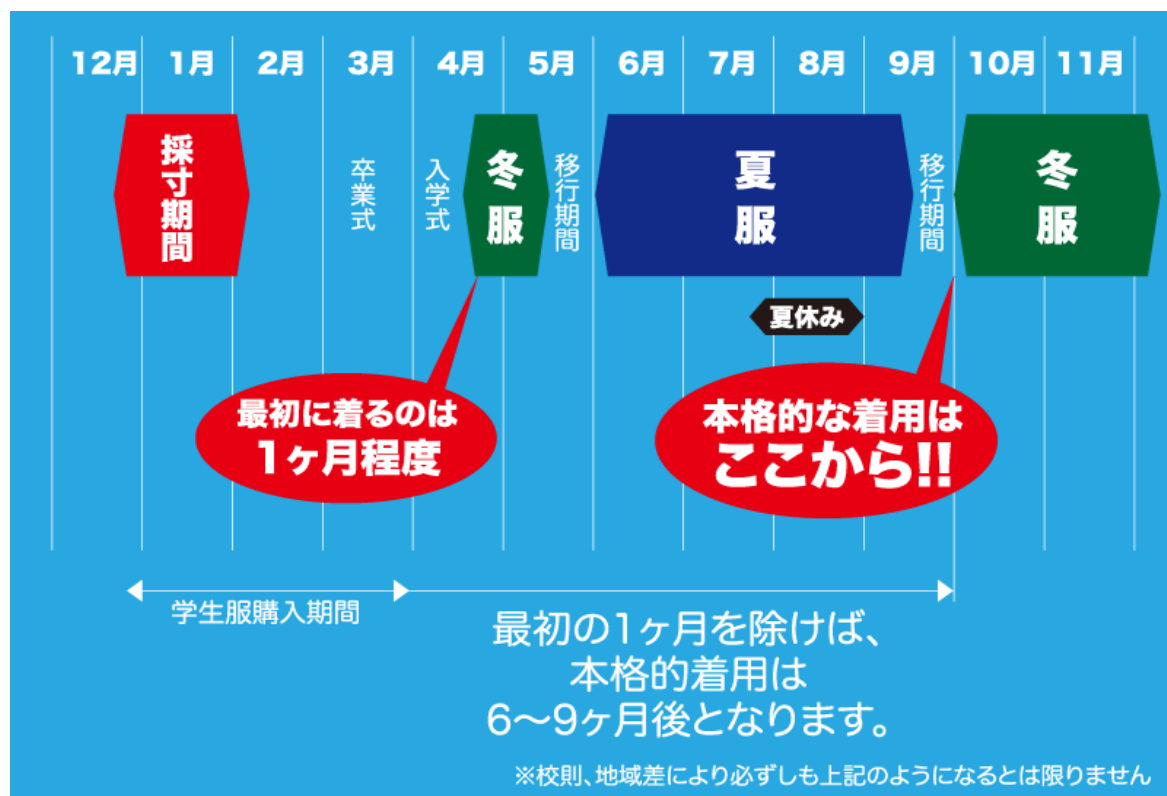
そう思えるのも当たり前ですね。大きいサイズを見てから

今の体に近づいた小さめのサイズを見たわけですから。

165Aか170Aのどちらを選ぶかは、お客様次第ですが、

悩まれた場合、私は大きいサイズ「170A」をおすすめします。

★その理由は・・・



★本格的に学生服を着始めるのは秋！

お客様に大きいサイズをおすすめしたい理由は採寸した時期が関係してきます。

全国的に新中学1年生の採寸時期は12月～2月上旬にかけて行われます。

もっと入学ギリギリか卒業式に着られる児童さんもいらっしゃいますので、

「3月入ってもいいのではないか」とおっしゃられる方もおられます。

しかし、全国一斉に4月に入学式。中学校だけでなく高校も重なってきます。

制服製造、販売側の理由となりますが、3月に入ってからだと入学に間に合わない可能性があります。

よって、入学される約3ヶ月前にくらいから採寸をします。

そして4月、入学され、5月の大型連休が近づいてくると暑くなってきます。

年により違いもありますが、その頃には上着の着用回数が減ってくることでしょう。

次に学生服を着るのは衣替えの10月となります。

つまり、採寸をして本格的に学生服を着始めるのは約9ヶ月後となるのです。

入学ギリギリに学生服を購入したとしても6ヶ月以上先になります。

成長期でもございますし、それだけ期間があれば身長も体重も増えることでしょう。

そのことを考慮し、採寸時多少大きすぎるとみえても、大きめのサイズをおすすめします。

【学生ズボン編】

★こぶし1つ分大きいサイズで

次に学生ズボンの場合ですが、上着同様、大きめのサイズをおすすめします。

私の場合、基本的に2サイズを選んでおすすめします。

実寸ウエスト70cmであればサイズ76cmといった具合です。

ちょうど、手をグーにして親指を横につけ、それがお腹とズボンの間に入るぐらいがよいかと思います。

「6cmもウエスト大きいなんて・・・」と思われるかもしれませんがね。

今後の成長を見据えてということもありますが、実は体育用のハーフパンツを学生ズボンの下に履いているのです。時にはジャージを履いていることもあります。そうすると、通常のピッタリサイズだと、お尻まわりとウエストがパンパンになり、学生ズボンが履けない状態になるのです。

「ズボンの下に体育用ハーフパンツなどを履く場合がある」ことを考慮してうえで、ウエストサイズを決めるのが最近の主流になっているのです。

ウエストの次は丈の長さです。

丈は通常の長さより極端に長くすることができません。

それは、歩いていて裾を踏んでしまい、危険だからということもあります。

素足の状態で床にすれるくらいだと、しばらくは安心です。

それ以上に成長された場合のために、縫い代をしっかりとっておくのがベストです。

(縫い代を10cm程度取りましょう。)

裾の型はシングルが規定です。

★学生服のサイズ選びの参考になりましたでしょうか。

あくまでも、平均的にみた個人的な見解も含んでおり、全ての方に当てはまるものではございませんので、そのことを踏まえて参考にさせていただければ幸いです。

3年間、お使い頂く学生服です。

困った時はお尋ねください、迅速な対応を心がけます。

また、最近ではネット通販で価格の安いものも販売されています。

ご希望によっては、

素材、仕様は異なることをご理解いただき、お任せいただければ当店でお値打ちな学生服を探してお届けします。

その際は、ご希望価格などをお示しくください。